

川口市の公共施設での 能登半島地震に対する 義援金箱の設置について

1月1日に発生した能登半島地震におきまして、お亡くなりになられた方々、そのご家族、ご親族、関係者の方々に対しまして心よりお悔やみ申し上げますとともに、被災者の皆様に心よりお見舞いを申し上げます。また救急救助並びに復旧活動にあたられている皆様に感謝いたします。

能登半島地震被災者の生活支援のために川口市として市内公共施設に義援金箱を設置して、日本赤十字社を通じて義援金を届けます。なお川口市議会としても義援金を送ります。

設置場所… 1月4日から下記施設に義援金箱を設置しています

- 川口市役所本庁舎、第二庁舎、教育庁舎、水道庁舎
- 各支所、各公民館、各図書館、各スポーツセンター
- 医療センター、グリーンセンター
- 川口駅前行政センター、かわぐち市民パートナーズステーション
- 鳩ヶ谷駅連絡室、西川口駅連絡室、蕨駅連絡室
- 生涯学習プラザ、科学館、中央ふれあい館、文化財センター
- 郷土資料館、鳩ヶ谷コミュニティセンター、ふれあいプラザさくら
- 川口オートレース場、リサイクルプラザ

※新川口(12月24日号)におきまして間違いがありましたので訂正いたします。

- ①みなさから寄せられた⇒**みなさまから** ②補聴器の購入をためある⇒**ためらう**
③市の国保財政は保険者一人当たり⇒**被保険者**

祝 新成人 希望の持てる社会を ご一緒につくりましょう

1月8日の成人の日、川口市では、2003年4月2日～2004年4月1日生まれの方(5566人)を対象に「はたちの集い」が総合文化センター・リリアで開かれました。開場時間前に川口西口デッキで日本共産党市議団や梅村さえこ元衆議院議員・おくだ智子衆議院埼玉2区予定候補、民青同盟や党事務所が、進学や就職など新成人みなさんの切実な願いにこたえ、一緒に希望の持てる社会をつくりたいとエールを送り、能登半島地震支援募金へのご協力も呼びかけました。



日本共産党が取り組んだ「おめでとう! 祝・成人あなたの願いおしえて(シール)アンケート」では、今のくらしや政治への満足度は「まあまあの50%」に集中し、今の自民党政治変わってほしいですか? の問いには「変わってほしい」「わからない」の選択が多く、政治に実現してほしいことや政治への不満、あなたの思いについては、「物価高騰を何とかして! 消費税を下げて!」「仕事きつすぎ! まともにくらせる給料を」「学費・入学金ゼロに! 奨学金返済の負担を減らして」に多くの意見が寄せられ、「ジェンダー平等社会の実現を!」では悩んでいる友達がいること、物価高騰や消費税は私たちだけの問題ではないなど、誰もが生きやすい社会を望む若い方々の声がたくさん寄せられました。

若者や国民の願いを実現するために、新成人のみなさんの行動が政治を変える力となることを実感できる取り組みとなりました。私たち日本共産党川口市議団も希望ある未来をともにつくるために先頭に立って頑張っています。

新川口

金子ゆきひろ 松本さちえ 板橋ひろみ ふじしまともこ

2024年1月14日 No.1728

日本共産党川口市議会議員団

川口市前川 2-28-10

TEL.267-8411 FAX.261-3528

<https://www.kawaguchi-jcp.jp/>

いのちと暮らしを守る なんでも相談会 in 川口

2023年12月に「いのちと暮らしを守るなんでも相談会」があり、21日22日には18時からボランティアによる予告街頭宣伝行動が川口駅東口で行われ、ふじしまともこ市議も参加しました。駅の出口で横断幕を広げ、マイクを回して声出し、日時場所のほか 弁護士、司法書士、社会福祉士、精神保健福祉士など専門家に生活、労働、法律のことなど幅広く無料で相談できることや電話相談もあること、食料や衣料品の無料配布もあることを伝えました。通行人の目を引き、ティッシュを受け取ってくれる人も多く反応は良かったです。

12月23日には、川口フレンディア会場で10時～15時半、電話相談10時～18時で開催されました。のべ117名のボランティアが参加し、その中に松本さちえ市議とふじしまともこ市議も参加しました。面談、電話相談合わせて100人余りの利用がありました。次回の相談会は2024/4/27(土)で場所は未定です。



2024年度の 学校給食費の引き上げを答申

川口市の学校給食は昨今の物価高騰の影響を受け食材料費が引き上がり、従来の1食単価では児童・生徒にデザートや果物の提供を減らすなど、満足な献立を立てることができない状況となっていました。

2022年度にも同様の状況で、給食のメニューから果物やデザートの提供回数を少なくするなどの対応をしてきました。

2023年度には2014年に改定後はじめて給食費の単価を引き上げましたが、川口市は新型コロナウイルス感染症の影響や物価高騰が家計に大きな負担になっていることから、保護者負担は2022年度の学校給食費分のみとし、引き上げ分は公費負担としてきました。

来年度に向けた給食費の改定議論は昨年秋から学校給食運営審議会に諮問され議論が行われてきました。審議会では、保護者負担への配慮や外国産食材の使用など様々な意見が出されていました。

昨年12月に開催された川口市教育委員会で、来年度の川口市の小中学校の学校給食費を引き上げることが決まりました。

学校給食費 1食当たりの推移

	小学校		中学校	
	1食	引き上げ額	1食	引き上げ額
2022年度	238円	—	279円	—
2023年度	273円	+35円	324円	+45円
2024年度	302円	+29円	357円	+33円

学校給食の無償化を今こそ

学校給食は食育という教育に位置付けられていて、子どもたちの成長発達を保障するためには欠かせないものです。そのために家庭の状況や自治体によって格差が生じることは解消していく必要があります。すべてのこどもの育つ権利を保障するために学校給食の無償化へ今こそ取り組むべきです。

日本共産党川口市議団は、市民運動とも共同して川口市での学校給食費の無償化を提案してきました。来年度に向けて給食費の引き上げが決定しましたが、少なくとも保護者負担を増やさず、市民生活と家計を応援する川口市の姿勢を持つべきです。